

千葉県立長生の森公園 国庫補助事業再々評価

千葉県県土整備部公園緑地課

事業箇所図



現況空中写真



南側区域(供用済み 10.2ha)

- ・野球場 センター122m 両翼98メートル
平成14年度供用開始
- ・テニスコート 砂入り人工芝 8面
平成15年度供用開始
- ・ゲートボール場 6面 平成16年度供用開始
- ・駐車場 普通車:132台
平成16年度供用開始

北側区域(未整備 3.8ha)

社会経済情勢等

1. 地球温暖化対策や生物多様性の保全等を背景に、緑地の持続的な保全と活用に対する意識が、近年急速に拡大している。
2. 施設づくりや管理運営への県民参加の促進が求められている。
3. 効率的な公共投資の観点から、投資効果を早期に発現することが求められている。
4. 長生・夷隅地域の一人当たりの公園面積は平成18年度末で $3.32\text{m}^2/\text{人}$ で県平均値($6.12\text{m}^2/\text{人}$)を大きく下回っており、当地域では公園整備の必要性は高い
5. 南側区域でのスポーツ施設での大会開催時等に駐車場が不足しており、駐車場の拡充要望が強い

計画見直しの視点

1. 里山の自然環境を考慮し、現況地形や植生を活用する
2. 事業費の縮減と早期利用のため、大型施設の取り止めや施設整備水準の見直し
3. 計画への県民意見の反映や県民参加による管理運営をはかる



ワークショップ

見直しの経緯

平成14年度 千葉県土木部・都市部所管国庫補助事業評価監視委員会
「社会状況の変化を考慮した北側区域の施設整備の
計画見直しをした上で、継続が妥当である」

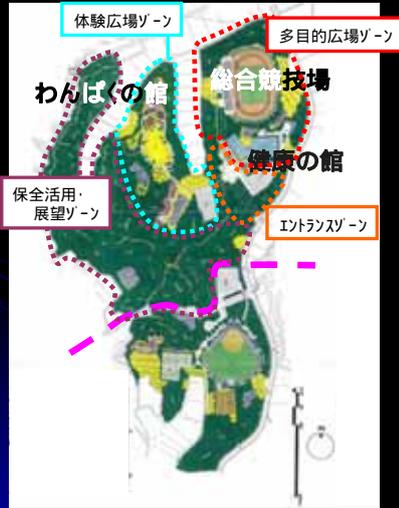
平成16年度 基本構想見直し(パブリックコメント実施)
～17年度

平成18年度 基本計画の見直し (ワークショップ開催)

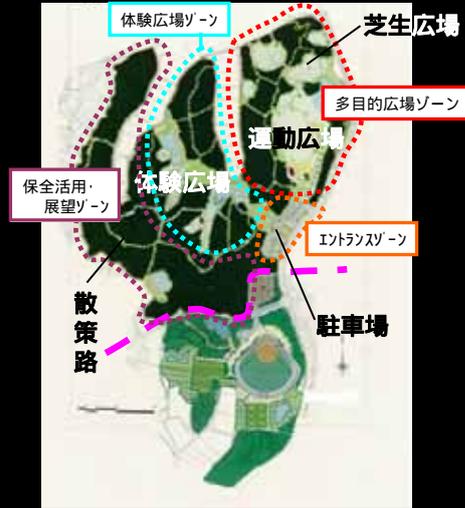
平成18年度～ 基本設計見直し

土地利用計画図

見直し前



見直し後(案)



計画見直しの概要

事業費		見直し前		見直し後(案)		削減内容
		全体事業費	残事業	全体事業費	残事業	
	総事業費	211億円	100億円	141億円	30億円	70億円の削減 大規模施設 40億円 整備水準等 30億円
	用地費	68億円	1億円	68億円	1億円	
	施設費	143億円	99億円	73億円	29億円	
	事業期間	平成5年度～平成24年度		平成5年度～平成29年度		
	費用便益比 (B/C)	1.13		1.61		
	総便益	266億円		293億円		
	総費用	235億円		182億円		

評価対象とする便益

1 直接利用価値

県民が直接的に公園を利用することによって生じる価値

2 間接利用価値

公園が環境の維持・改善、景観の向上に役立つ価値

公園が災害時に担う役割にかかる価値

費用便益比分析結果(見直し(案))

算出 マニュアル	改訂大規模公園費用対効果 分析手法マニュアル		基準年	平成19年
			供用開始 年度	部分供用:平成14年度 全体供用:平成29年度
誘致圏	山武・長生・夷隅地域17市町村		B / C	1.61
	平成14年	平成19年	総費用	182億円
誘致圏人口	47万人	48万人	総便益	293億円
誘致圏世帯数	15万世帯	17万世帯		

費用の現在価値		便益の現在価値	
用地費	82億円	直接利用	29億円
施設費	78億円	環境	120億円
維持管理費	22億円	防災	144億円
合計	182億円	合計	293億円

$$B / C = \frac{293 \text{ 億円}}{182 \text{ 億円}} = 1.61$$

対応方針(案)

- 1 社会経済状況や県民ニーズ等を考慮した計画見直しを進めていること
- 2 既に用地確保をほぼ終えているうえ、地元からも早期完成が望まれていること
- 3 北側区域の整備により既に供用している南側区域の利用促進が見込めること
- 4 茂原市の広域避難場所に指定されており、地域防災計画重要施設であること

→ 整備の必要性は高い

↓
継 続